

照屋 愛心

宜野湾市平和大使



私は、平和大使育成事業を通して、沖縄戦や長崎の原爆投下、平和のありがたさを勉強させていただきました。さて、今世界は平和であると言えるのでしょうか。私言えないと思います。紛争や情勢の悪化による争いがニュース番組で毎日おに放送されています。そして、その争いによって毎日、多の方が犠牲になっています。日本もかつて戦争をへめた。そして原爆の影響を受けた被爆者は放射線を受け、後遺症で、原爆投下から77年未だ今でも酷い差別を受けています。このような悲劇があり、だから私は、今、世界が平和ではないと思いました。戦争や、原爆投下は、大切な家族や、大切な命を奪う残酷なものです。大切なものをとった悲しみは言ひ知れません。だから、こんな悲しみばかり生み出す戦争など、あてはならないのです。ですから戦争を起さず、いかなる国を實現させた日本から、戦争、原爆の悲劇、平和の尊さを世界に伝へていかなければならないのです。私は、戦争や原爆の悲劇、平和の尊さをずっと言ひ続けます。それが「平和な世界」の實現のために少しも役立って信じて。

● 長崎を最後の被爆地に ● 平和な世界を求めて ● 宜野湾市立 真志喜中学校

